

5/13 旗

# 憲法を守る 戦争する国反対 多彩に

「憲法守れ」などと訴える弁護士ら＝11日、和歌山市



## 弁護士がデモ行進

**和歌山** 「憲法9条を守る和歌山弁護士の会」は11日、「憲法の破壊を許さないランチTIMEデモ」を和歌山市で実施し80人が参加しました。

和歌山市役所前での出発で藤井幹雄弁護士は、戦争する国づくりをすすめる安倍政権を批判し

「あと1カ月ほどで参議院選挙が公示されます。和歌山でも、憲法、立憲主義を壊す政権とたたかう態勢が整いつつあります。今日も元気に歩きましょう」とよびかけました。

参加者らは「戦争する国ぜったい反対」「憲法壊す総理はいらない」などと訴えて行進。行進終了後にあいさつした由良登信弁護士は、安倍政権を倒す決意を表明し「一人ひとりが広げてほしい」と訴えました。



講師（右側）の話に耳を傾ける参加者ら＝9日、福島市

## 若者グループが学習会

**福島** 安保法制（戦争法）廃止を求める福島県内の若者グループDAPPE（ダッペ＝平和と平等を守る民主主義アクション）は街頭でのシール投票や学習会などに取り組んでいます。9日には福島市で「憲法と安保法制―私たちの明日はどっちだ!?」と題する学習会を行いました。

メンバーの佐藤大河さん（30）が「自公などが国会で3分の2以上の議席をとれば改憲に道を開く。自民党改憲案がどういうものか学ぼう」とあいさつ。

「安全保障法に反対する福島県大学・短期大学研究者の会」の憲法研究者が講演しました。「学生の憲法意識は？」

「安倍首相のいう積極的平和主義とはどんなもの？」など質問が出され、討論しました。

仕事帰りに参加した男性（31）は「憲法には人権や平和的生存権など、国民に重要なことが何一つ欠くことなく書かれていると知れて楽しかった。憲法は国のためではなく、国民のためにあると明確にしている。仕事を切り上げて来たかいたがあった」と語りました。

DAPPEではSNSやツイッターで情報を発信し、今後もサウンドデモやトークライブなど若者の要望に応えたイベントを行う計画です。

日本共産党の、くまがい智参院比例候補も出席しました。